

ハードル (2004)

メディア 映画 アニメ
ジャンル ドラマ 青春 ファミリー
製作国 日本
時間 90分
初公開日 2005/

【解説】
いじめやそれに伴う不登校問題などをテーマにした青木和雄の小説『ハードル 真実と勇気の間で』を長編アニメ化。神奈川県各団体が後援している。中学受験を控えた小学六年生の少年・有沢麗音（れおん）と浜田博。ある時、麗音は博の万引きを知ってしまう。受験のストレスゆえと理解した麗音は博をかばうが、やがて万引きの一件が学校に知れ渡るや、博は麗音が犯人だと密告する。教師たちは無実を訴える麗音の言葉に耳を傾けようとしなかったが、それでも幾人かの友人と文房具店の老婆の優しさに救われるのだった。そんな麗音はやがて中学に進学してバスケット部に入るが……。本作の制作はマジックバスが担当し、同社の代表でもある演出家の出崎哲が監督を務めた。また声優も麗音役の岸尾大輔（だいすけ）をはじめ、鈴木健一や福山潤ら多数の実力派が参加している。

【クレジット】

監督	出崎哲
アニメーション演出	棚橋一徳
絵コンテ	四分一節子
制作プロデューサー	三上鉄男
原作	青木和雄（『ハードル 真実と勇気の間で』金の星社・刊） 吉富多美
脚本	小出一巳 末永光代
キャラクターデザイン	四分一節子
音楽	中島優貴
主題歌	ゆず「なにもない」（セーニャ・アンド・カンパニー）
声の出演	岸尾大輔 皆川純子 土井美加 千葉一伸 高森奈緒 鈴木健一 日下ちひろ 福山潤 稲垣隆史 谷育子 浅野史郎 さとう宗幸